

簡易補修と延命化措置の選定

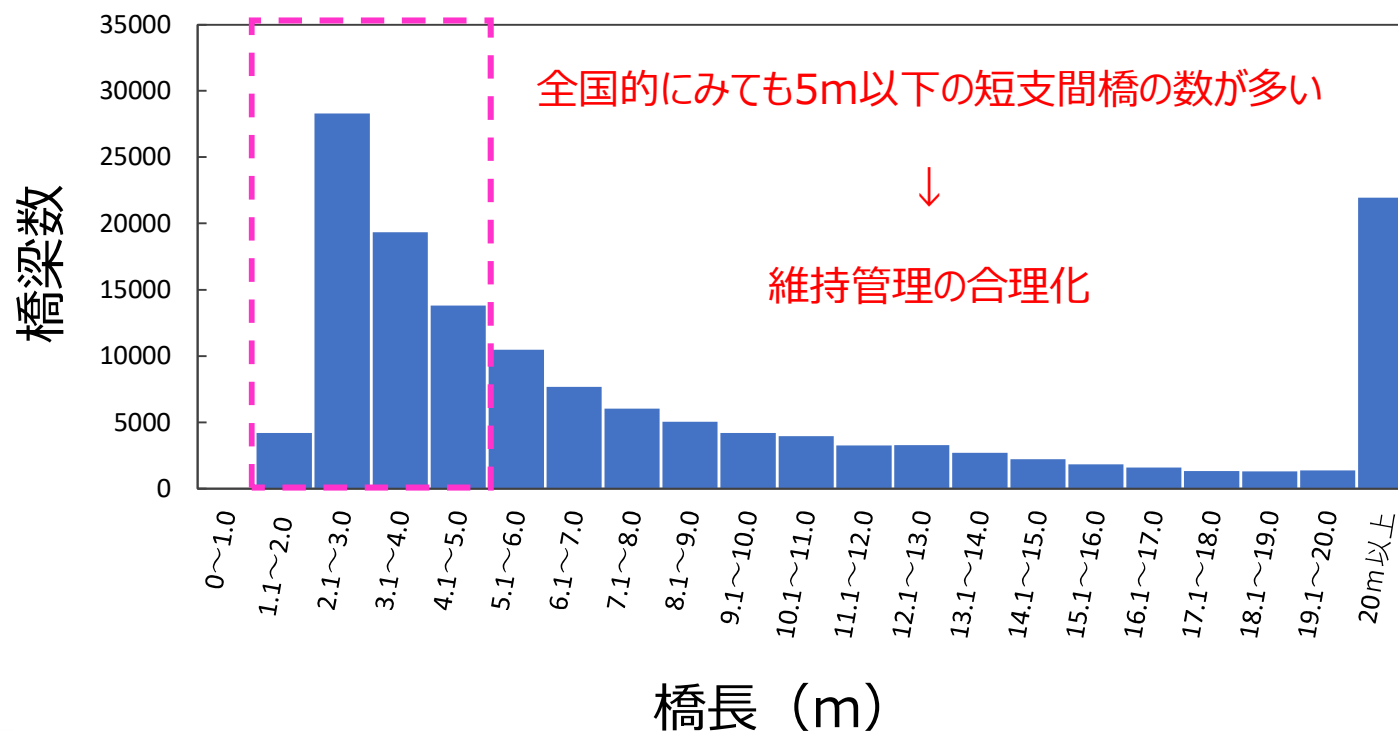


サブ課題C：地方自治体等のヒューマンリソースの戦略的活用

北陸地方の自治体が管理する橋梁の割合（橋長別） 例

市	L < 5m	5m < L < 15m	15m ≤ L	合計
富山市	1,354 (67%)	605	243	2,002
福井市	1,130 (65%)	440	164	1,734
小松市	229 (52%)	131	83	443
能美市	139 (56%)	94	15	248

地方公共団体が管理する橋の橋長ごとの供用数(2022)



RC短支間橋の例
橋長4.8m、幅員6.6m

- **対象構造物**

コンクリート片のはく落等が発生しても第三者への影響がないと考えられる橋長5m程度の短支間RC橋。ただし、塩害等によりコンクリート構造物の劣化進行が著しく速い構造物は対象外とする。

- **簡易補修、延命化措置の定義**

補修、延命化措置が少なくとも5年間維持できるもの。
(5年ごとの定期点検で確認)

- **簡易補修、延命化措置の方法**

特定の専門技術者ではなく、地元の建設会社（場合によっては自治体職員、市民など）でも簡易に作業ができる、補修設計を要しない補修、延命化処置。
例えば、点検時に補修、延命化処置を行ってⅢ判定になるまでの期間を延ばす。

※短支間RC橋の維持管理の効率化を図り、重要構造物への予算・人員等の維持管理資源を重点的に配分する。

